



**会社説明
及び**

**平成24年12月期
第2四半期決算説明**

ダイトエレクトロン株式会社

証券コード: 7609

当社の概要



(2012年4月1日現在)

商号	ダイトエレクトロン株式会社
設立	1952(昭和27)年6月24日
代表者	代表取締役社長 前 績行
資本金	22億70万8,560円
従業員数	連結:656名 単独:377名
売上高	連結:405億52百万円(平成23年12月期) 単独:363億37百万円(平成23年12月期)
事業内容	電子部品&アセンブリ商品、半導体、エンベデッド、電源機器、画像関連機器・部品、情報システム、光デバイス・LSI製造装置、電子材料製造装置、フラットパネルディスプレイ製造装置、エネルギーデバイス製造装置等の開発・製造・販売・輸出入
子会社	10社



創業の精神

「きびしい仕事 ゆたかな生活」

行動規範

積極開拓 創意工夫 良識遵法
精励勤勉 友愛団結

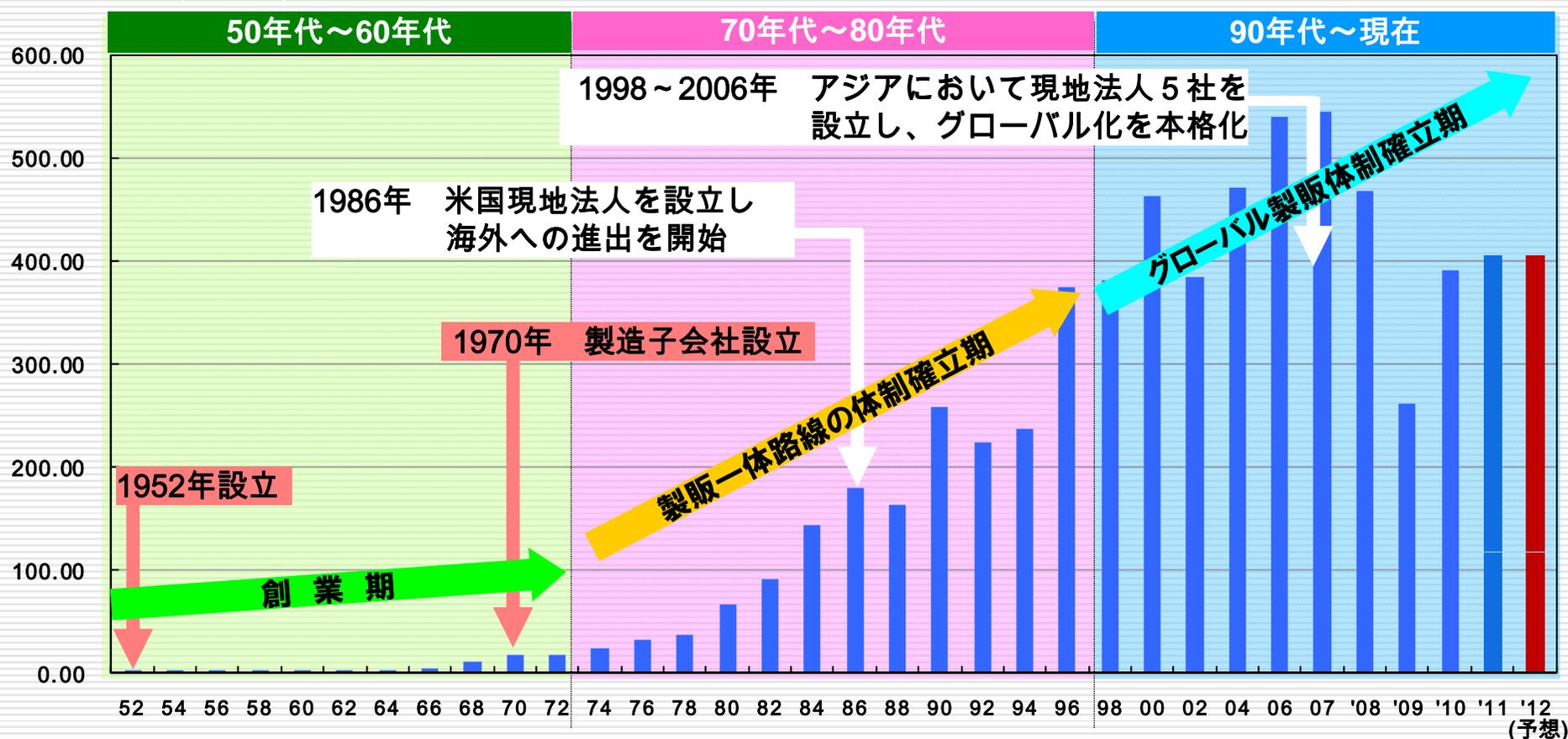
経営理念

- 我が社は、社員の自己実現を尊重し完全燃焼を期するがため、真に働き甲斐のある快適な職場創りを目指します。
- 我が社は、株主・顧客・仕入先に対して満足の提供に努力致します。
- 我が社は、絶えずグローバルな視野に立って、技術革新と高付加価値の創造に挑戦していきます。
- 我が社は、絶えず感謝の念をもって社会に貢献していきます。

創業から現在まで

1970年に製造子会社ダイロンテクノロジー(株)を設立し、製販一体路線の経営で急速に成長

■売上高 (億円)

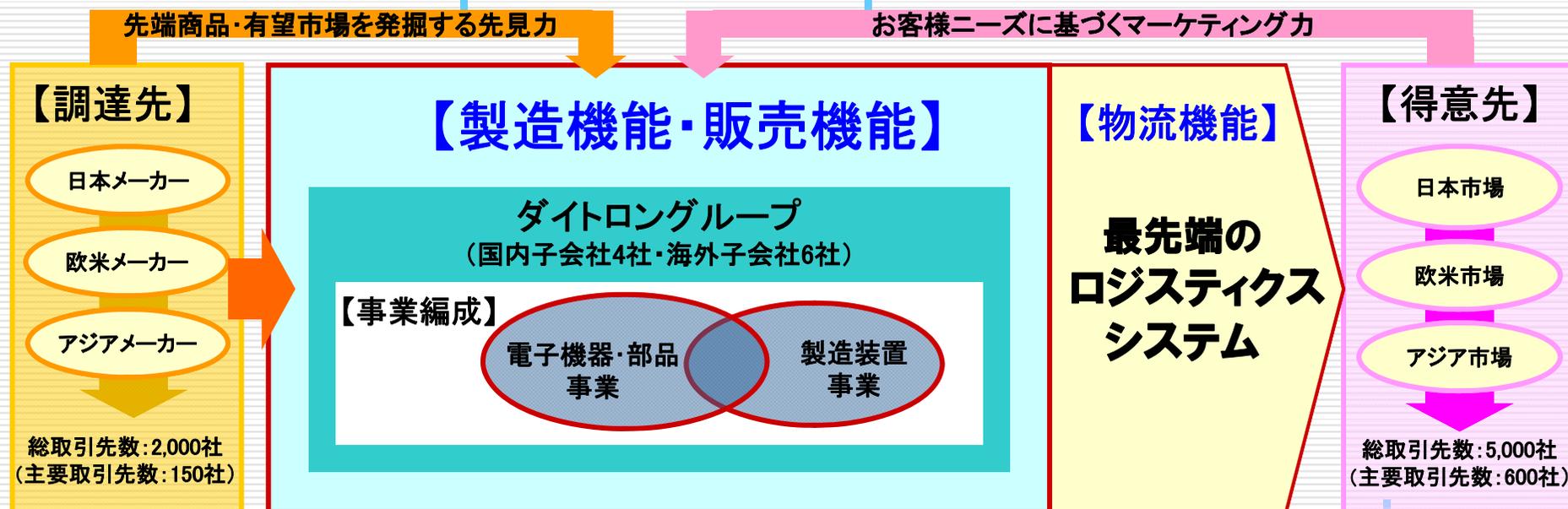


注) 1998年より連結決算を開始。グラフの売上高は1998年以降は連結ベース。それ以前は単体ベース。

ビジネスモデルと強み

① 製販一体路線のグループ編成

② 先見力とマーケティング力



③ バランスのとれた事業構造

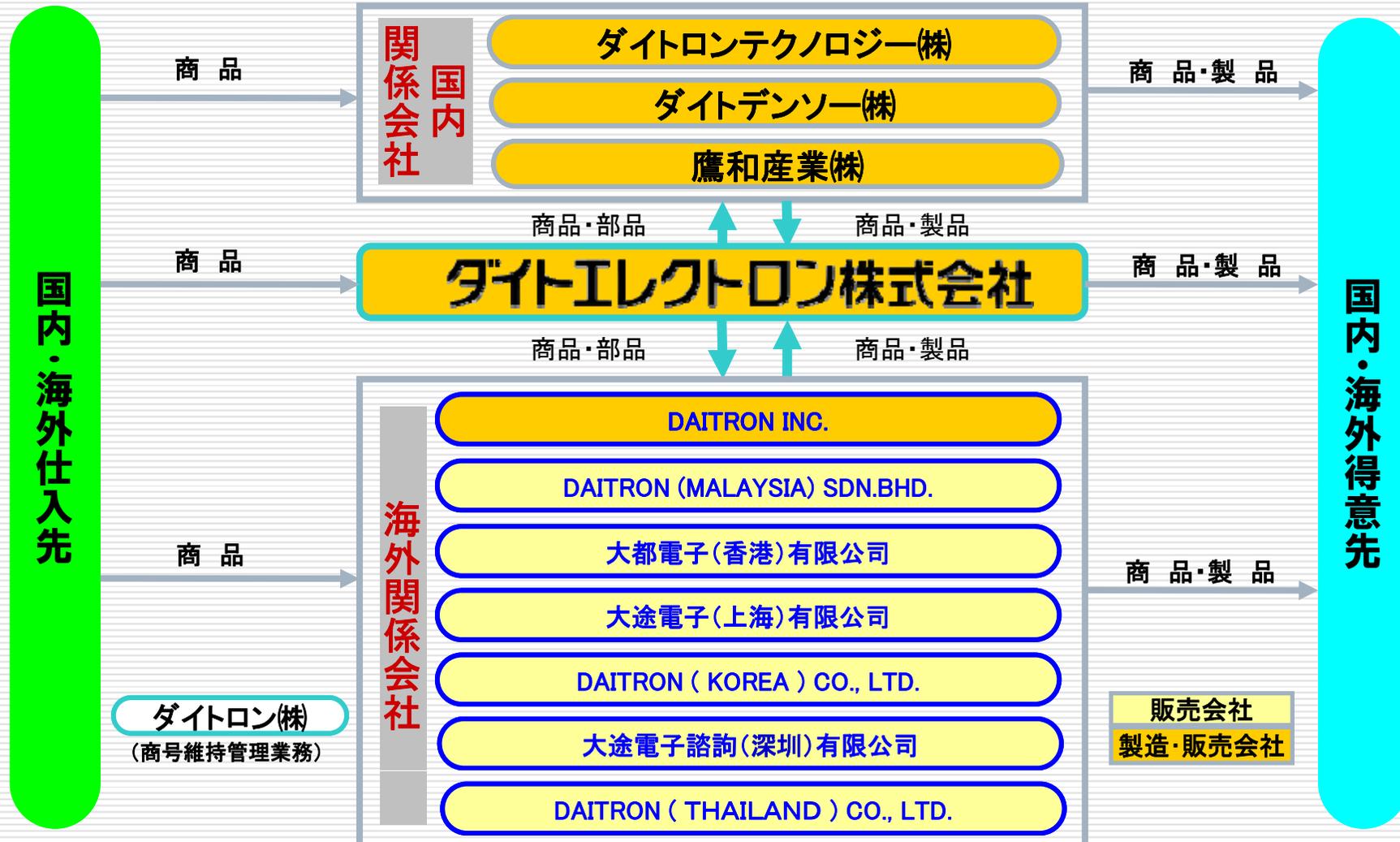
④ 業界トップクラスの物流サービス機能

⑤ 優良な顧客資産と口座数の多さ

製販一体路線のグループ編成

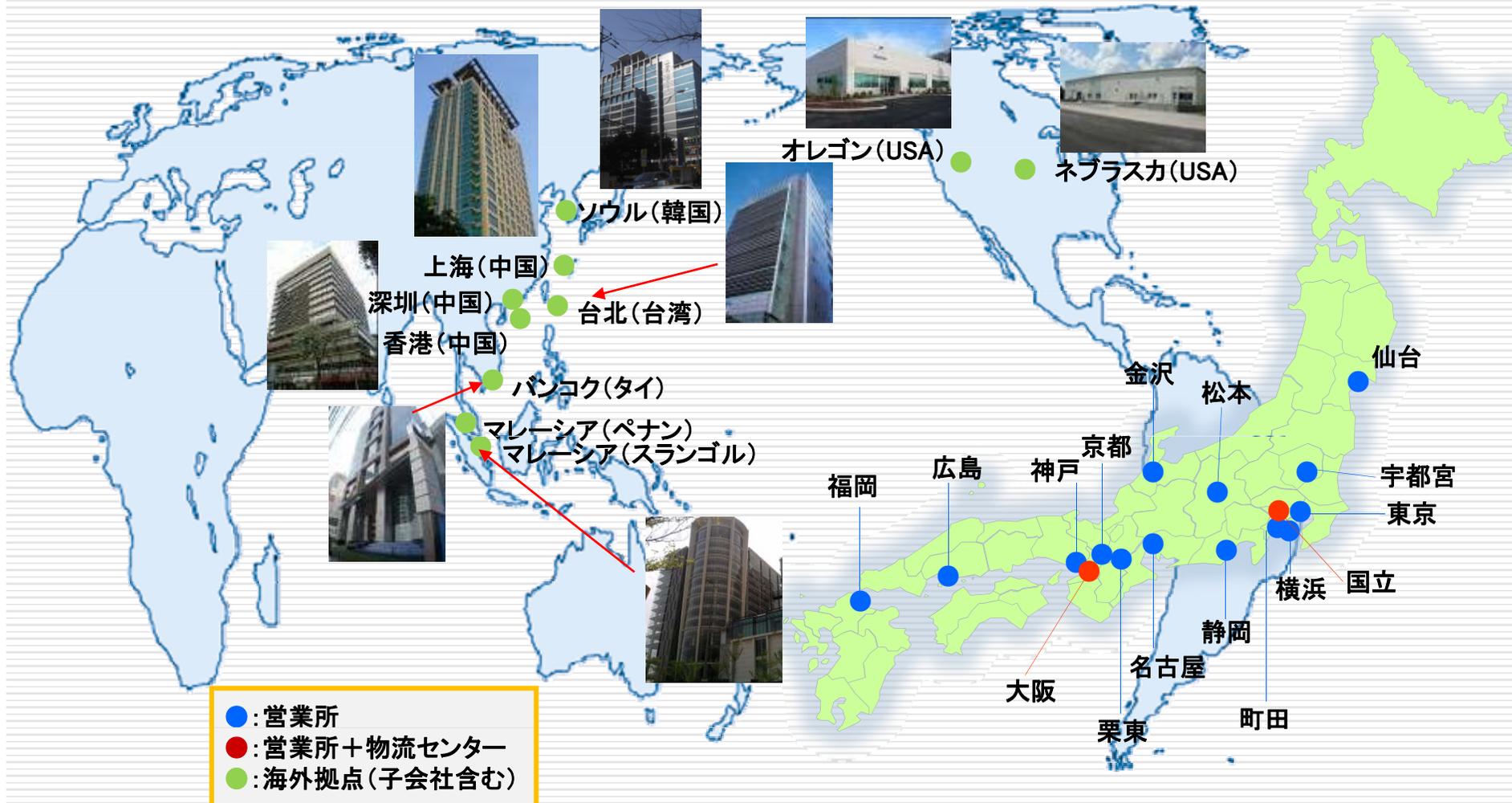
Daitron

当社を主軸とした商社機能とダイロンテクノロジーを
主軸としたメーカー機能を中心に、グループ総合力を発揮



「技術商社」として、充実した営業拠点展開

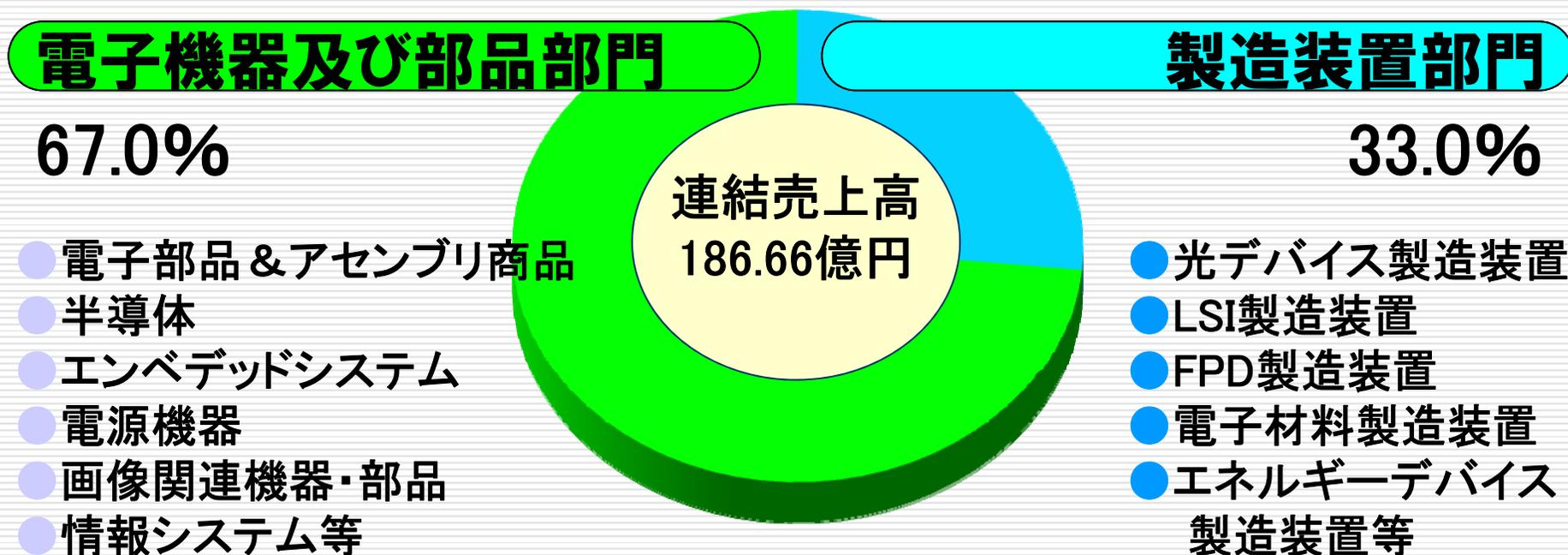
国内16拠点・海外11拠点



「電子機器及び部品部門」と「製造装置部門」 の2つの部門にまたがる事業を展開

【部門別売上高構成比】

(2012年12月期第2四半期累計期間／連結)



当社の事業構造 (2012年第2四半期累計期間実績より算出)



事業	商品群	売上高構成比	総利益率	オリジナル 製品比率(単独)	海外売上比率
電子機器・部品	電子部品&アセンブリ部品	27.9%	24.8%	14.2% (前年同期: 15.6%)	北米 2.2% (前年同期 1.9%)
	半導体	5.6%	26.2%		
	エンベデッドシステム	5.7%	15.0%		
	電源機器	5.8%	24.0%		欧州 0.3% (前年同期 0.3%)
	画像関連機器・部品	14.8%	19.7%		
	情報システム	5.8%	26.6%		
	電子機器・部品のその他	1.4%	5.2%		
製造装置	光デバイス製造装置	3.1%	33.8%		アジア 17.5% (前年同期 21.5%)
	LSI製造装置	5.5%	13.3%		
	電子材料製造装置	9.4%	27.7%		
	FPD製造装置	11.2%	15.9%		
	エネルギーデバイス製造装置	3.8%	12.6%		
全体	100.0%	21.8% (前年同期:21.7%)	14.2% (前年同期:15.6%)	20.0% (前年同期:23.7%)	

商品セグメント別部門紹介

電子機器及び部品部門の概要

Daitron

電子部品 & アセンブリ商品



- コネクタ、ハーネス、機器組立配線

半導体



- カスタムIC、ASSP、汎用品

エンベデッドシステム



- エンベデッドボード、コンパクトPC

電源機器



- 電源、瞬低保護装置

画像関連機器・部品



- CCDカメラ・レンズ・照明、画像処理機器

情報システム



- 非接触ICカードシステム、ビデオ会議

製造装置部門の概要

Daitron

光デバイス製造装置



● ファイナルテスター、
エージング(寿命試験)装置

フラットパネルディスプレイ製造装置



● 液晶ガラス基板用スクライブ面取り装置、
有機EL発光検査装置

LSI製造装置



● リフトオフ装置、
チップソーティングマシン

電子材料製造装置



● 縦型外周ノッチ端面研磨機、
ウェーハ平坦度測定装置

エネルギーデバイス製造装置



● ワイヤソー
エッジデリーション

2012年グループ経営方針 及び 第7次三カ年経営計画

グループ・ステートメント

Coordinator for the *NEXT*

～グローバルな観点で市場を捉え、お客様ニーズの一步先の価値を創造し、提供する～

基本戦略

ビジョン

高収益企業を目指す

提供価値

メーカーを持つ技術商社として、
顧客の広範な技術・経営課題への
ソリューション提供

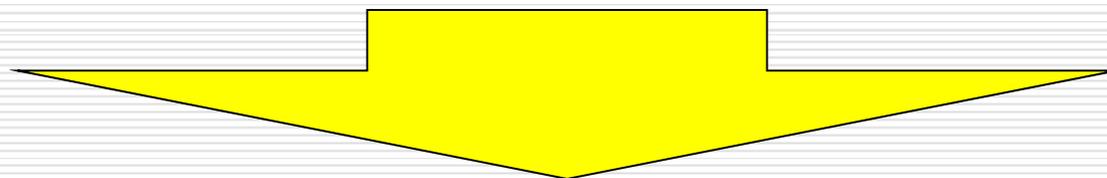
ターゲット市場

● グローバルのエレクトロニクス市場

コア・コンピタンス

- 設備から生産財まで取り扱う商社機能
- 開発・設計・製造、アセンブリ、メンテナンス等のメーカー機能
- モジュール化、システム化等のエンジニアリング機能
- 技術・経営ソリューションの開発と提供能力

- 【1】日本市場の停滞、縮小
- 【2】商社の存在意義が問われている
- 【3】グローバル市場による海外企業との競争激化



【1】ダイトロングループの総合力の強化

市場のグローバル化にあわせて多様化する要求に対応するため、海外においても販売・生産およびサービスネットワークを拡充。

【2】オリジナル製品の強化・拡大

汎用製品の販売だけにとどまらず、メーカー機能を強化することでお客様からの要望に的確に対応。

【3】海外ビジネスの強化・拡大

成長著しいアジアでの競争に勝つために、総合提案力が発揮できる体制を作り、アジア圏での地位確立を目指す。

今後の注力分野

注力分野

高機能部品 & ASSY

ターゲット市場

航空・宇宙用

鉄道車両向け

船舶・特需用途

当社オリジナル製品



耐水・耐圧コネクタ

注力分野

電源関連及び2次電池分野

ターゲット市場

医療機器関連

半導体製造装置関連

計測機器関連

放送機器関連

当社オリジナル製品



医療規格対応
スイッチング電源

注力分野 太陽電池(PV)及び燃料電池(FC)関連

ターゲット市場

太陽電池の資材は国内と海外で主流が異なり、
当社はその双方に対応

国内市場

主流となる「薄膜系」に対応

海外市場

主流となる「結晶系」単結晶
(多結晶+単結晶)に対応



ワイヤーソー

主な戦略商品

- ・ドライ洗浄関連装置
- ・レーザー加工装置
- ・ソーラーシミュレーター
- ・ワイヤーソー
- ・スラリーリサイクルシステム
- ・外観自動検査装置
- など

今後の注力分野

注力分野

パワーデバイス関連

ターゲット市場

- ・SiCメーカー
- ・パワーデバイス用シリコンメーカー

参入

- ・車載用
- ・家庭用
- ・電力用

当社オリジナル製品



縦型ウェーハ端面形状研削機

注力分野

高輝度LED関連

ターゲット市場

- ・サファイア基盤メーカー
- ・LEDメーカー

参入

- ・バックライト用途
- ・自動車用途
- ・一般照明用途

当社オリジナル製品



LEDマイクロボンダー

1. 海外拠点間取引の拡大
韓国・台湾・米国の海外製品
の積極的な販売
2. 新規海外ビジネスの開拓
EU・インド市場の開拓
3. 海外での有力なパートナー企業
の模索
4. 海外事業推進部の新設

オリジナル製品の強化・拡大①

Daitron

製造子会社が技術力を高め、新分野におけるノウハウを積み重ねることで、当社グループのオリジナル製品の開発力が着実に向上しています。

ダイロンテクノロジー(株)



耐水圧コネクタ

ウェーハソーター



リフトオフ装置

ダイデンソー(株)



カメラケーブル

一般ハーネス



ワイヤーヘッドカメラ

オリジナル製品の強化・拡大②

Daitron

当社事業部においても、オリジナル製品の開発が進んでいます。

EM事業部



ウェーハ端面形状研削機



チップソーター

電源事業部



医療規格対応
スイッチング電源



ノイズ除去トランス

スマートグリッド プロジェクト

今後、国内のスマートグリッド市場は2020年に約2兆円、また米国・欧州をはじめ世界のスマートグリッド市場では2020年に約20兆円が見込まれます。その大きな将来市場を見据え、グループ全部門横断的な情報の共有化を図り、ビジネスチャンスを掴む活動を行い、売上と収益の拡大に寄与する新分野の創出を目指します。

ターゲット市場(製品)

- スマートメーター
- EV充電器
- PCS(パワーコンディショナー)
- 新エネルギー
(太陽光発電、風力発電など)
- 蓄電池
- 発電



風力発電

取扱商品

- コネクタ、ケーブルハーネス
- SONY FeliCa
- スイッチング電源、リアクトル
- 半導体(メモリー、RFIC)
- コンパクトPC、PCボード
- 太陽電池パネル



太陽電池パネル

売上目標



コンパクトPC



PCボード

メディカル プロジェクト

堅調な推移を持続するメディカル業界は、今後も安定的な拡大が見込まれる非常に有望な市場です。当社グループでは既に、医療規格を取得した電源関連製品を開発・発売し、第一歩を刻んでおり、今後、このメディカル市場へフォーカスし、安定的な経営基盤の確立に寄与する新分野の創出を目指します。

ターゲット市場(製品)

- MRI / CT
- X線診断装置
- 内視鏡
- 人工透析機
- 血液分析装置
- 超音波診断装置 ほか



MRI

取扱商品

- 医療用モニター / プリンター
- CCDカメラ
- スイッチング電源
- 産業用コンピュータ
- コネクタ、ケーブルハーネス
- 医療用カート ほか



スイッチング電源

売上目標



医療用カート

平成24年12月期 第2四半期決算

第2四半期累計期間 業績結果



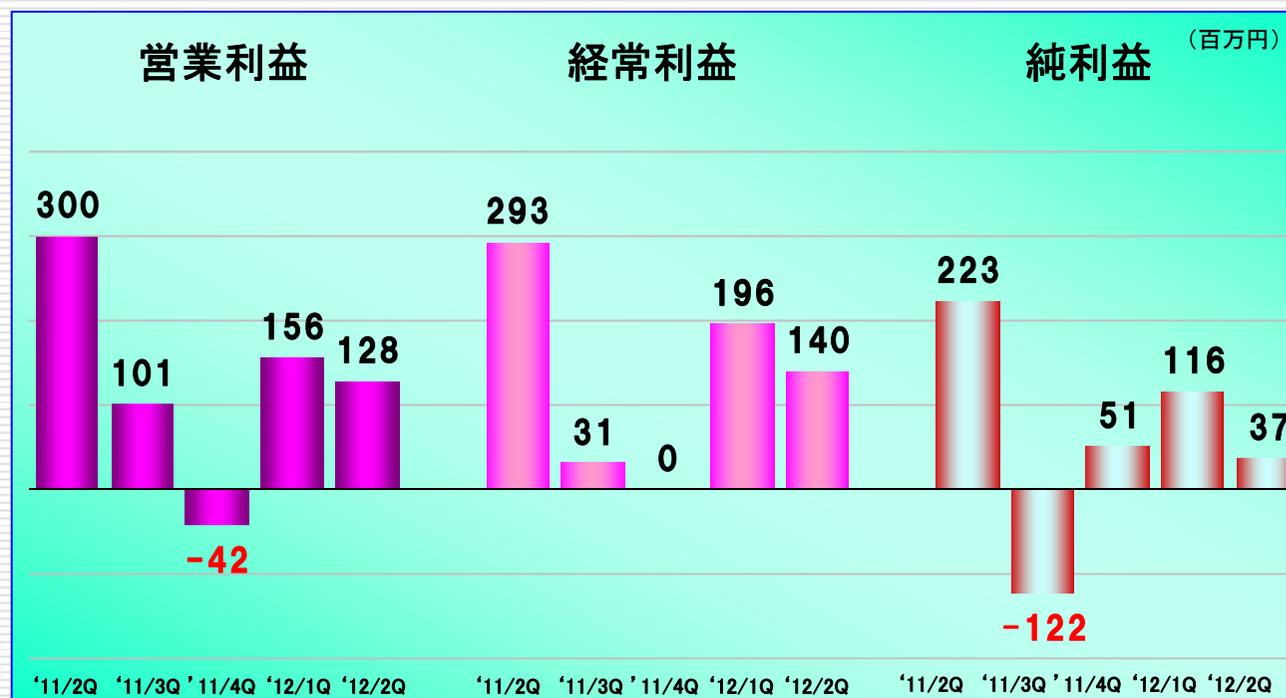
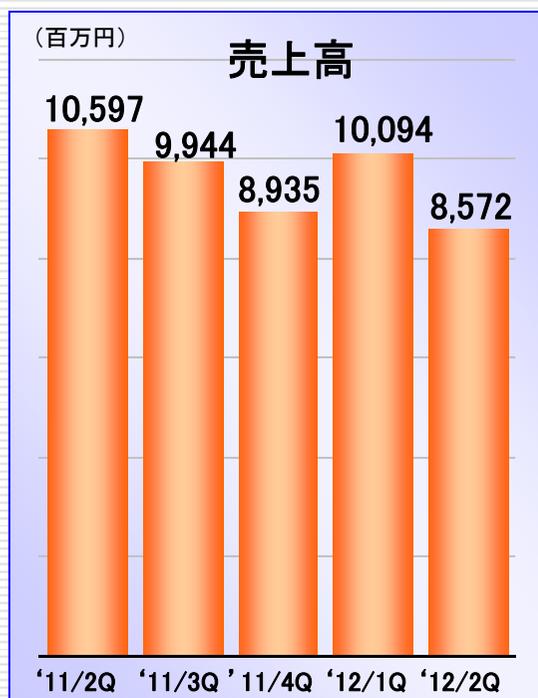
■売上高 18,666百万円

■営業利益 284百万円

■経常利益 337百万円

■純利益 154百万円

◆主要な市場であります産業用機械・設備市場において需要の低迷が長期化の影響を受けたこと、加えて、前年同期の業績が好調であったことから、前年同期の実績を大きく下回る。

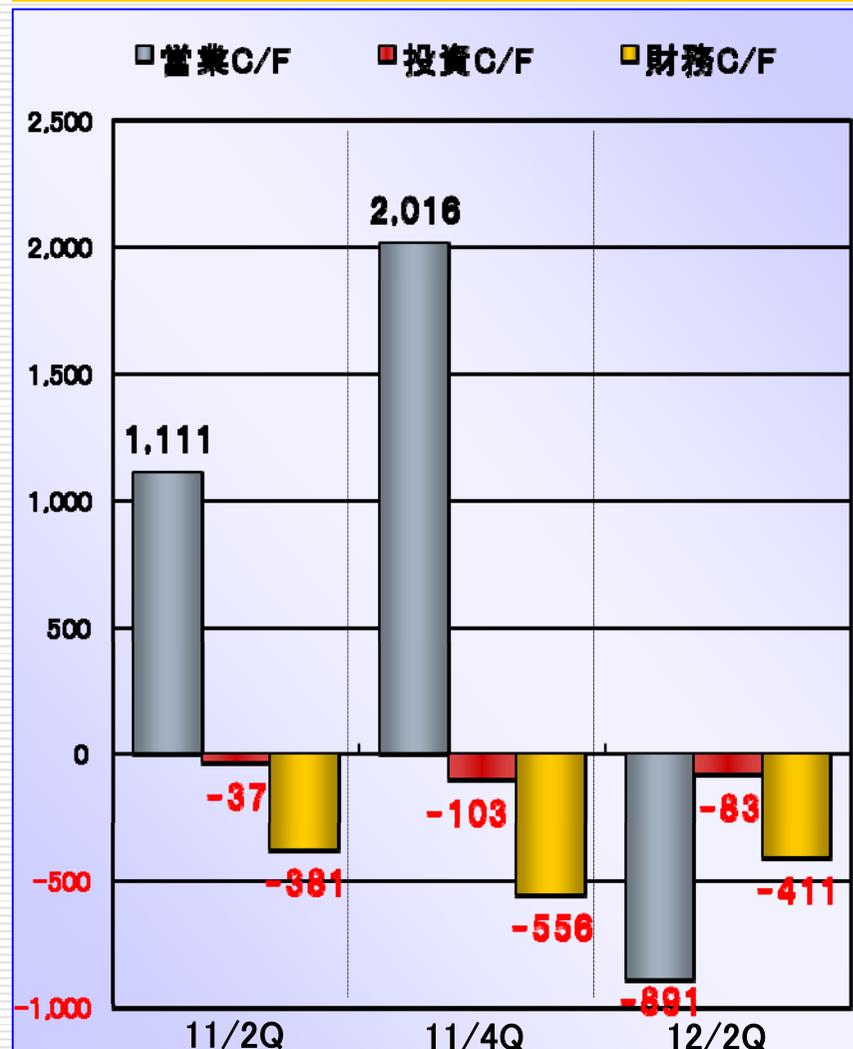


財政状態、キャッシュ・フローの状況

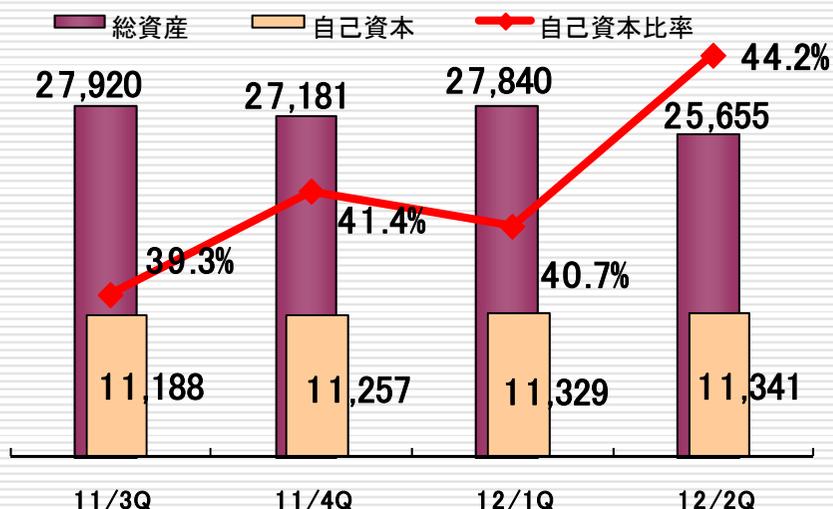
連結財政状態

総資産 25,655百万円 (2,185百万円減)	負債 14,311百万円 (2,196百万円減)	負債 純資産
	自己資本 11,341百万円 (少数株主持分 3百万円) (12百万円増)	

連結キャッシュ・フローの状況(累計)



総資産・自己資本・自己資本比率



商品別第2四半期(累計) 連結業績

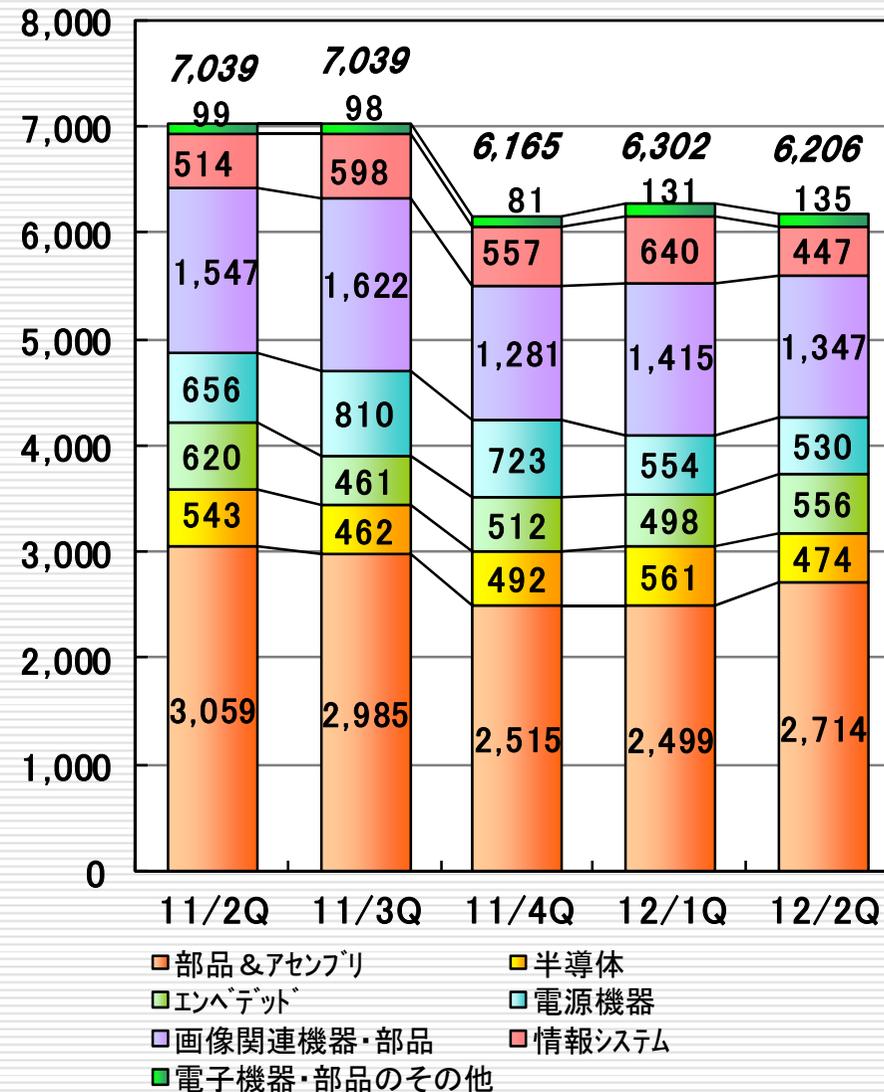
(単位:百万円)

売上高

■ 電子機器及び部品

6,206百万円

◆「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネスは、徐々に回復しつつあるものの、主要市場における産業用機械、設備投資におけるメーカーの生産調整や在庫調整の影響を大きく受け、低調な推移に留まる。



商品別第2四半期(累計) 連結業績



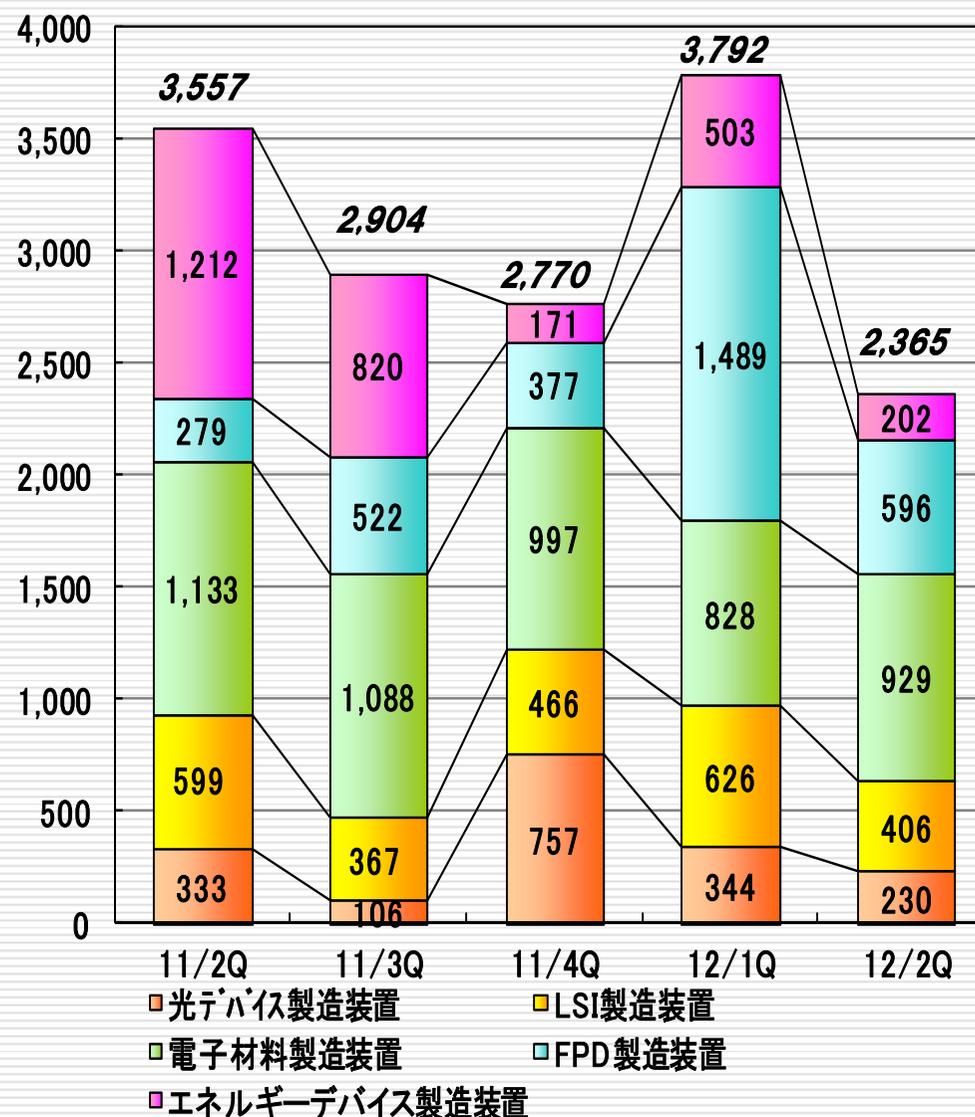
売上高

■ 製造装置

2,365百万円

◆ 「フラットパネルディスプレイ製造装置」の液晶パネル製造装置では前年同期の実績を上回りました。また、「電子材料製造装置」のウェーハ面取装置等のオリジナル製品が当セグメントの業績に貢献いたしました。しかしながら、海外諸国の設備投資需要の減速を受け非常に厳しい状況にて推移しました。

(単位:百万円)



減価償却費・設備投資額・研究開発費



(単位:百万円)

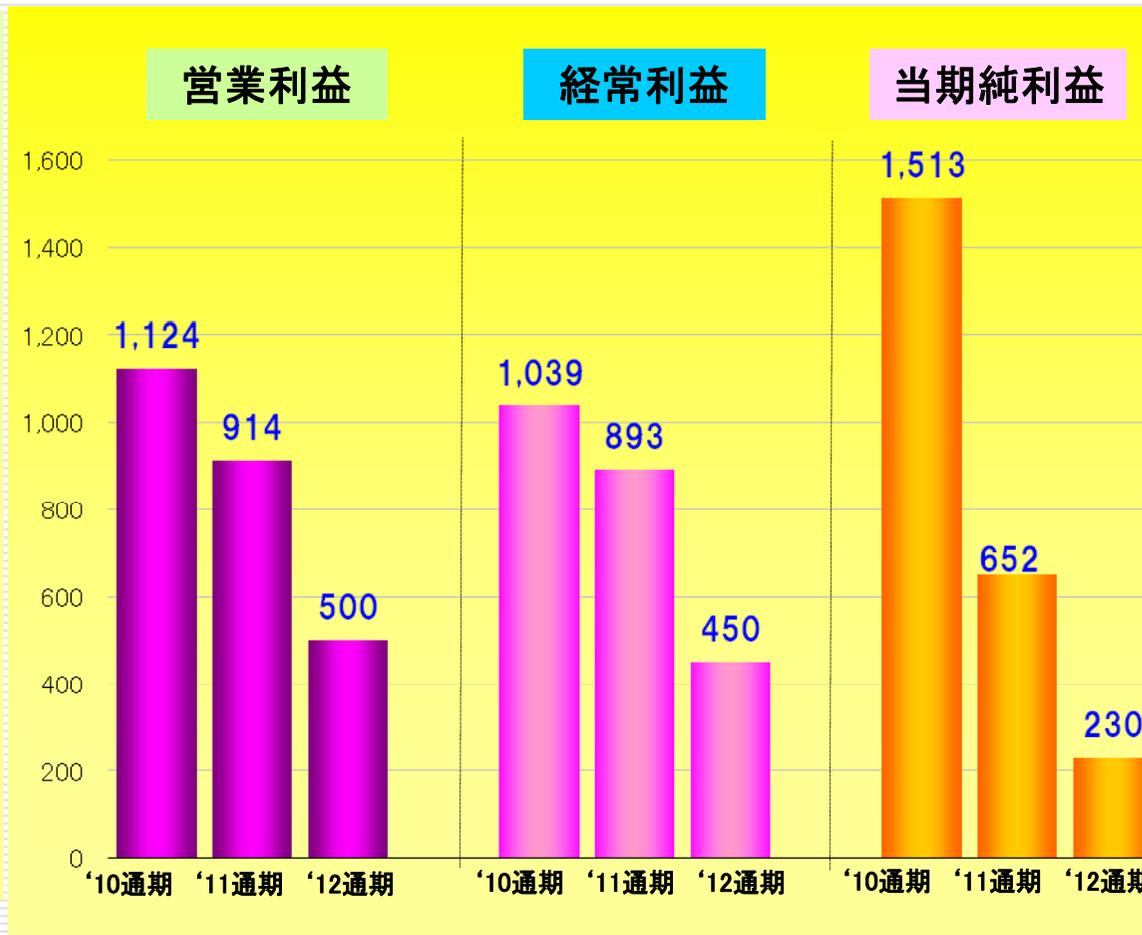
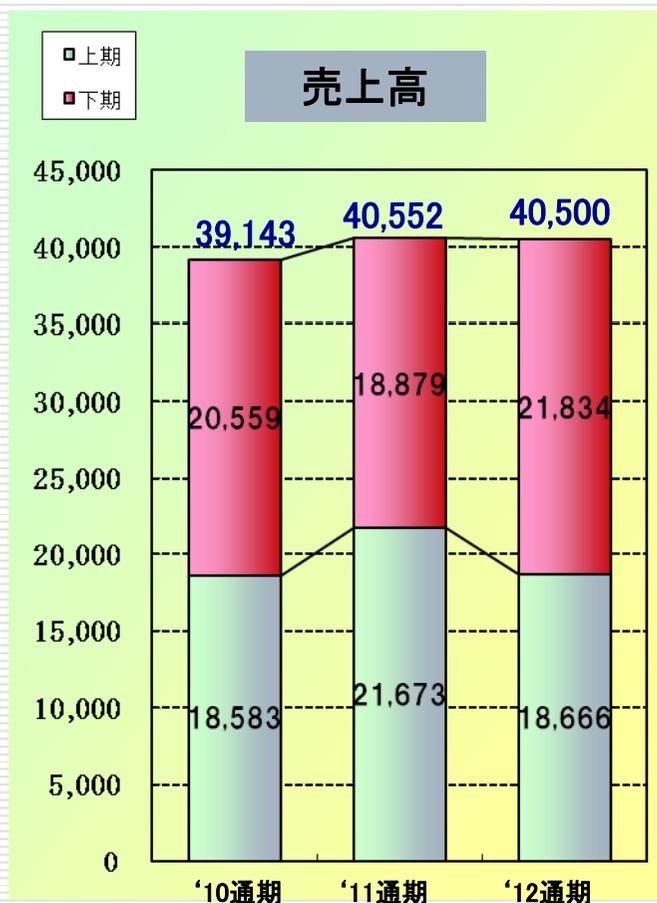
	'10/12 (2Q実績)	'11/12 (2Q実績)	'12/12 (2Q実績)	前年同期 増減	'12/12 通期予算
減価償却費	244	226	234	8	516
設備投資額	75	69	152	83	185
研究開発費	77	71	70	△1	232

通期連結業績見通し



(単位:百万円)

(単位:百万円)

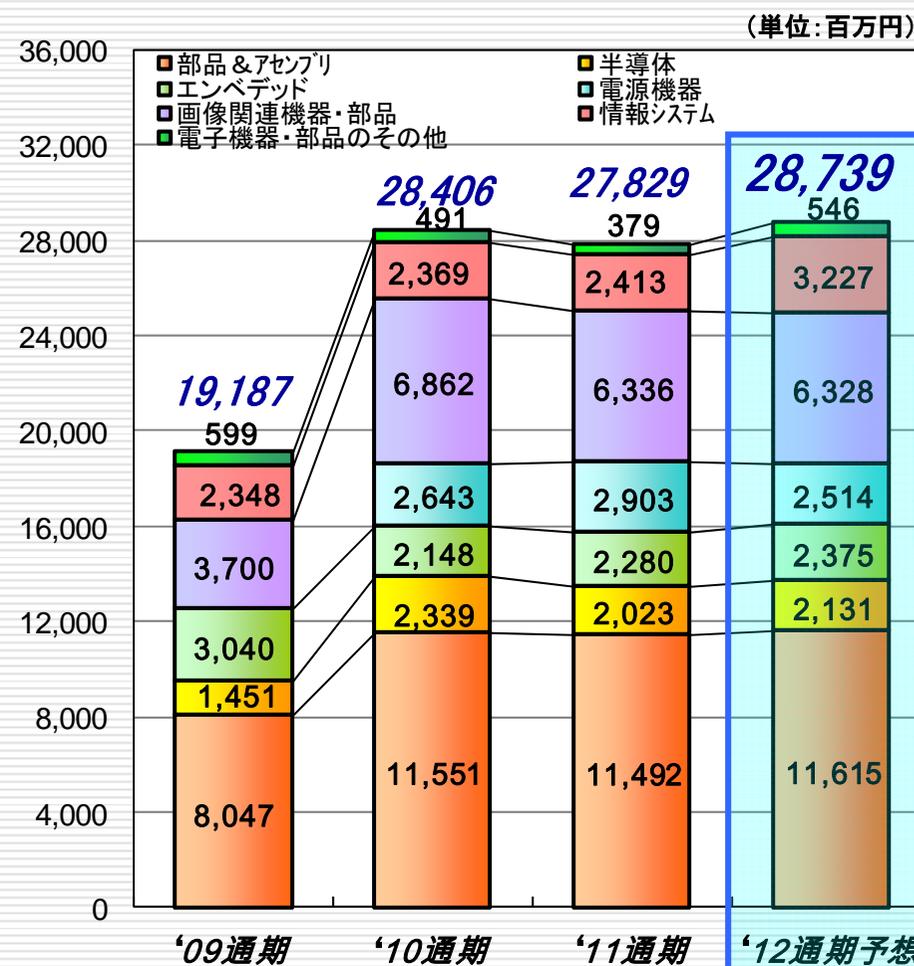
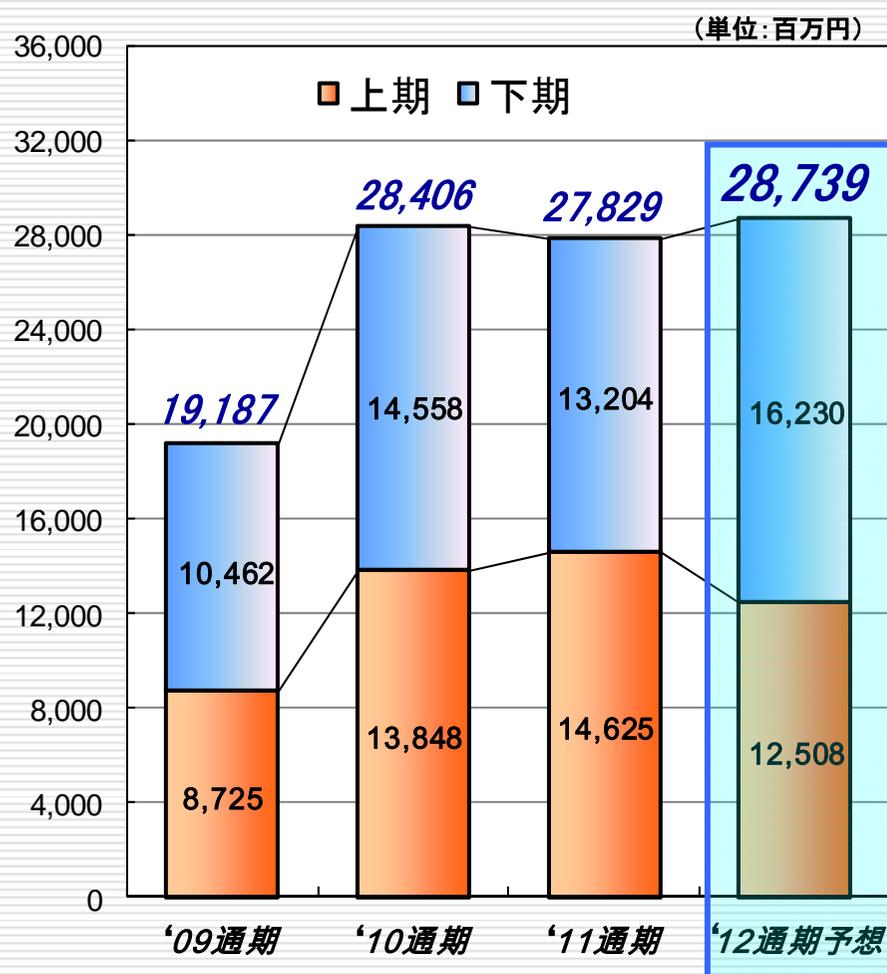


商品セグメント別業績見通し

電子機器及び部品

■売上高 28,739百万円

◆前年比 103.3%

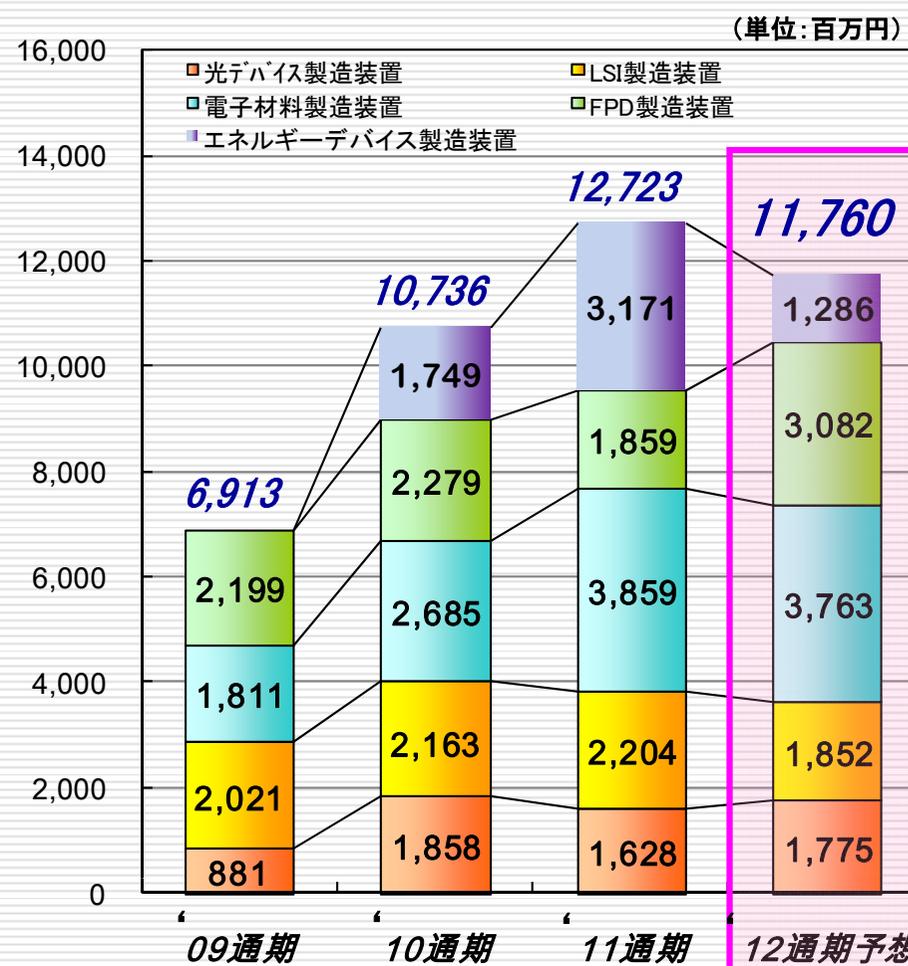
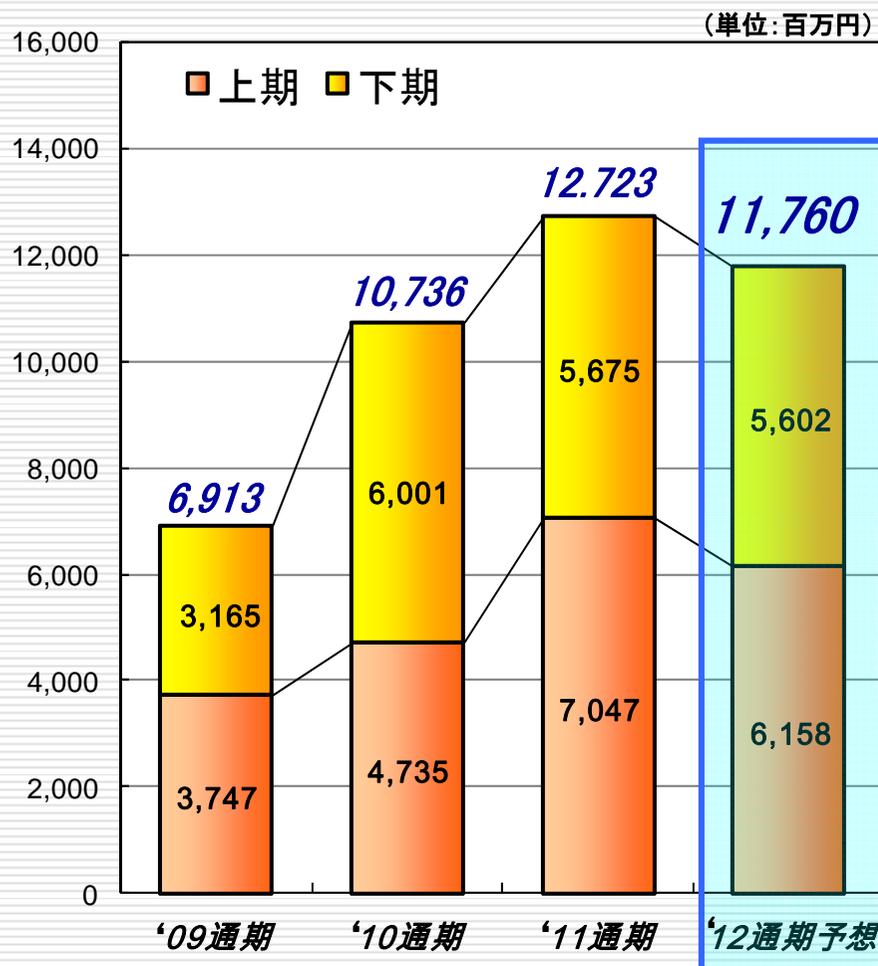


商品セグメント別業績見通し

製造装置

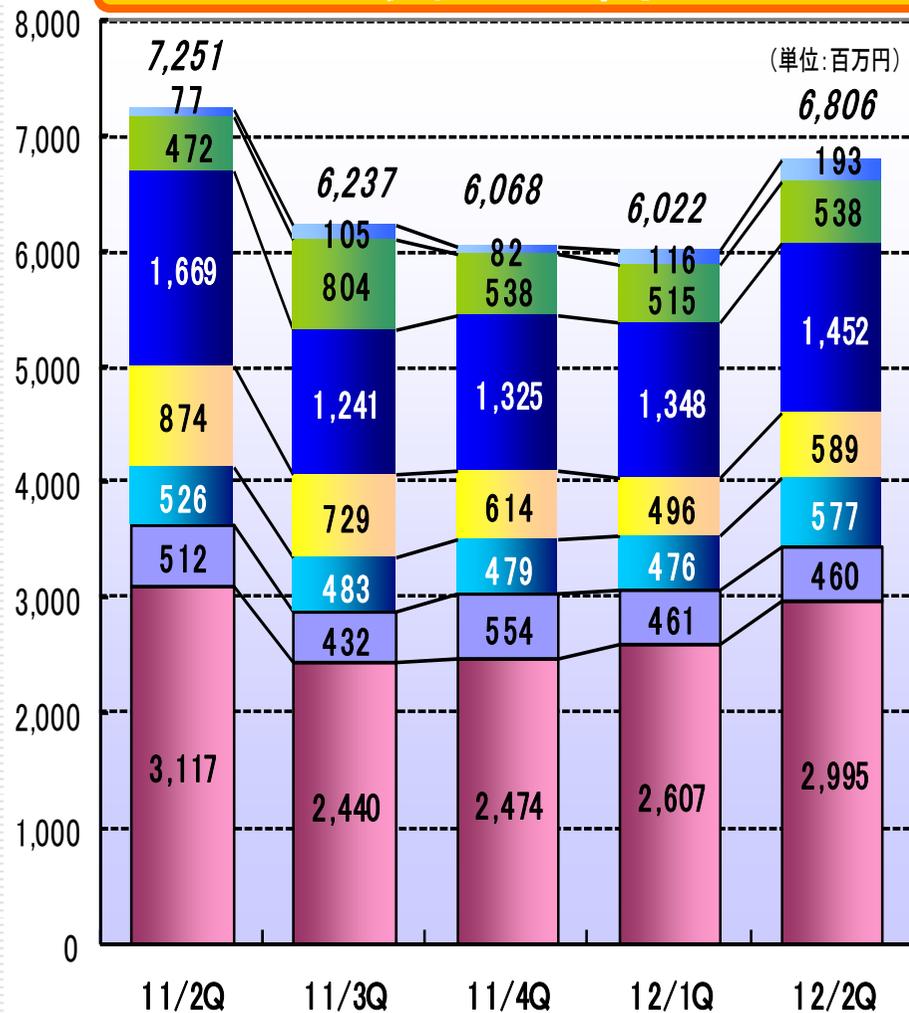
■売上高 11,760百万円

◆前年比 92.4%

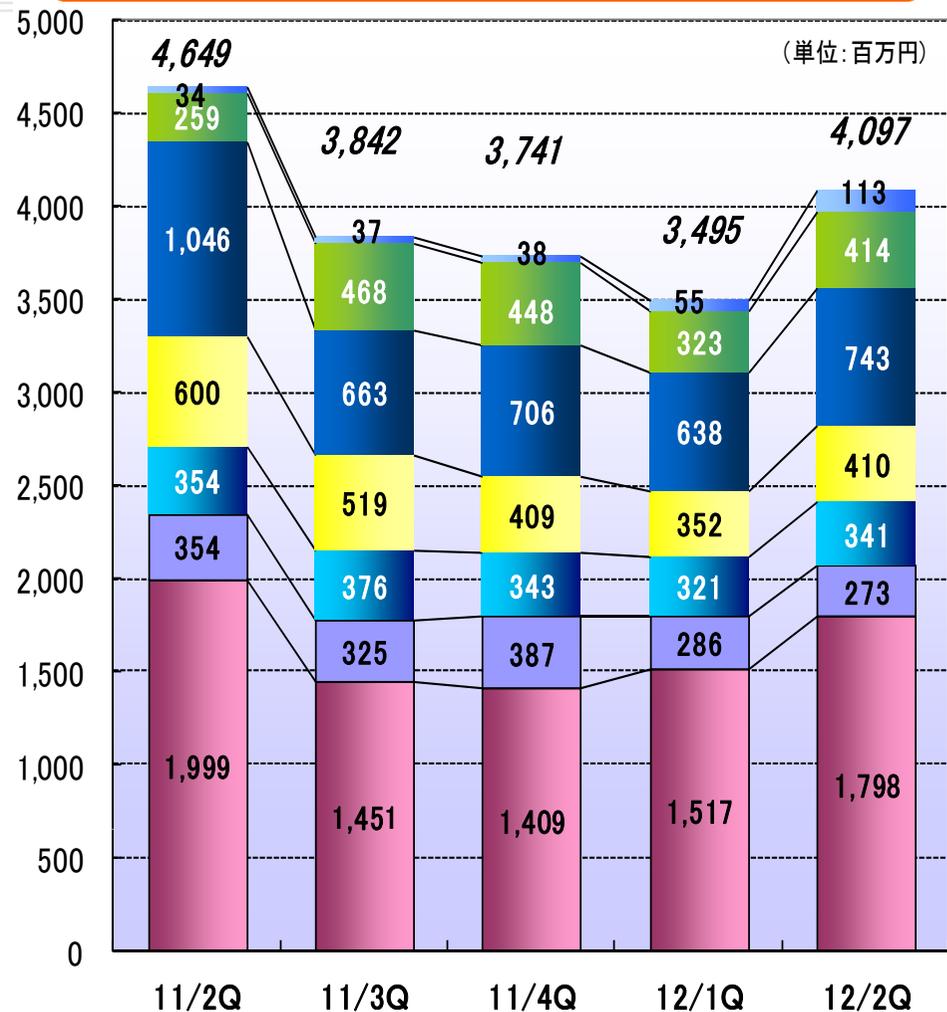


商品別四半期受注高・受注残高推移 電子機器及び部品 **Daitron**

受注高



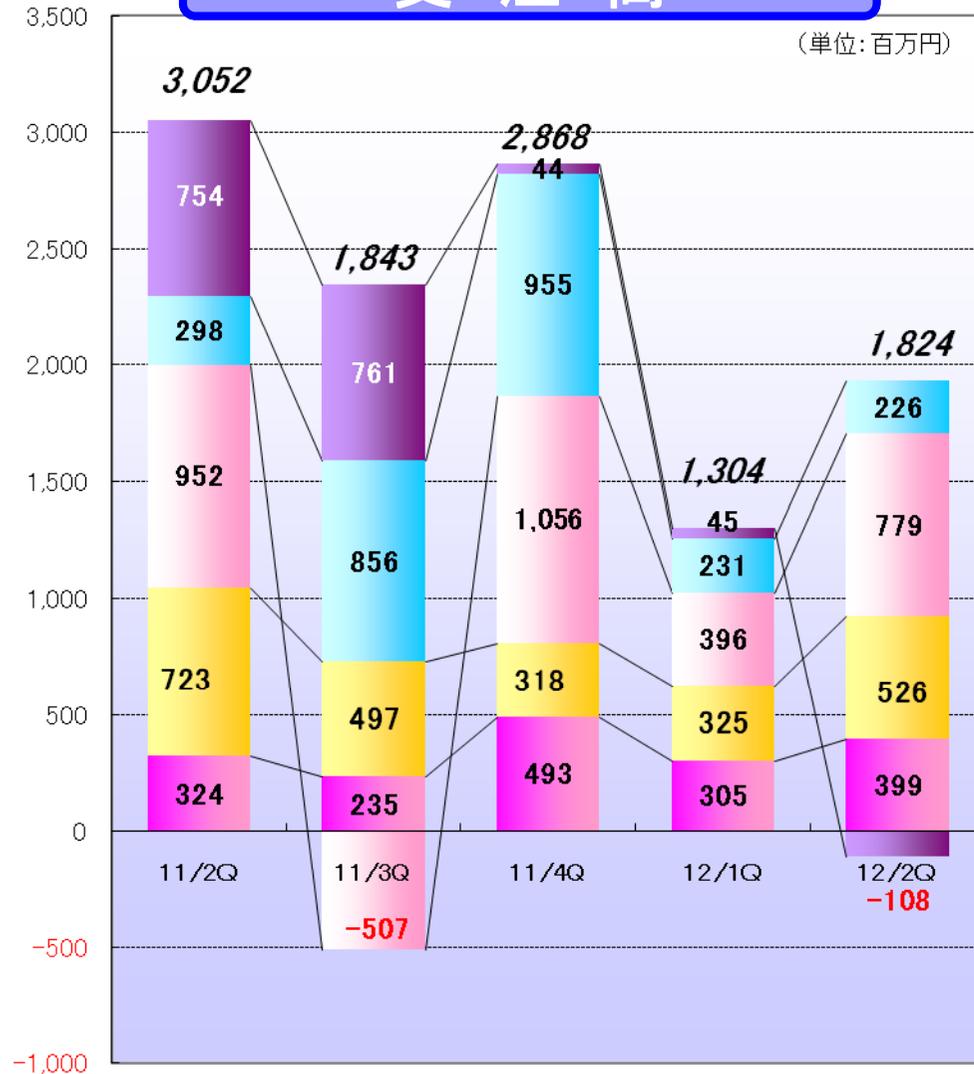
受注残高



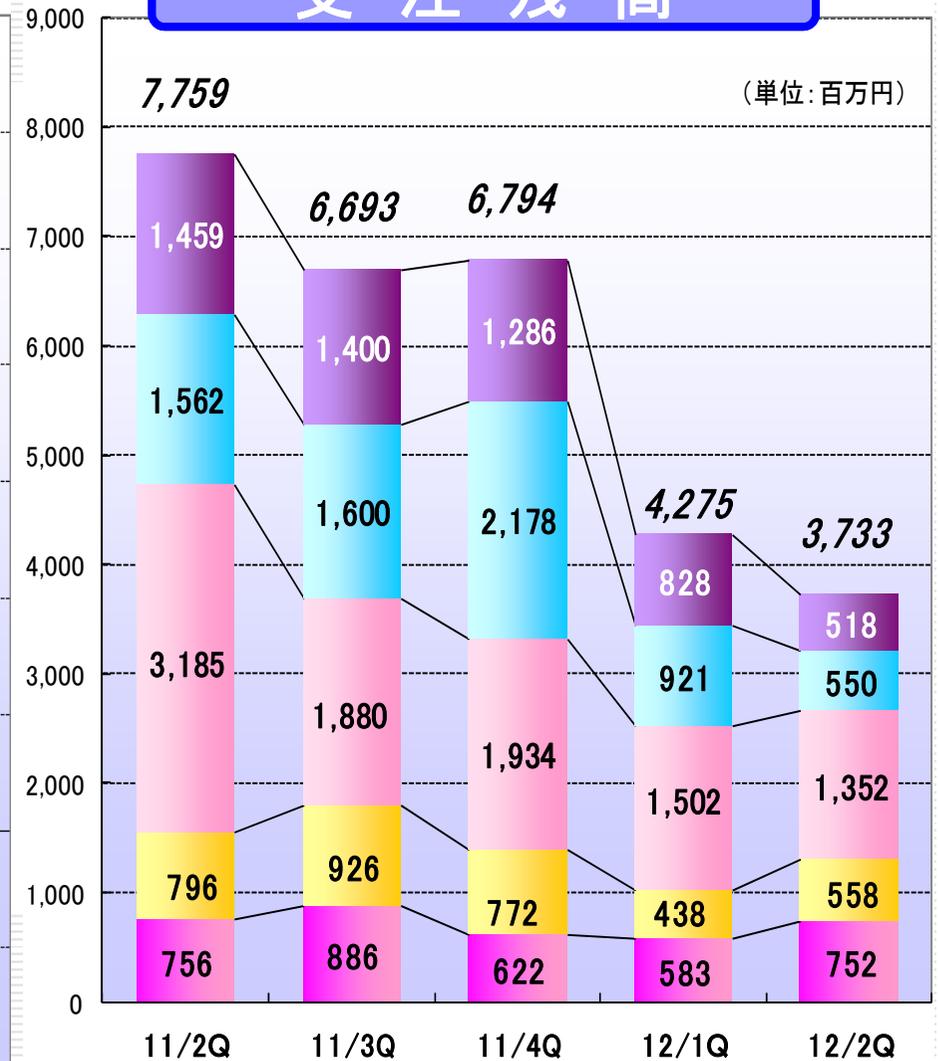
■ 電子部品&アセンブリ商品 ■ 半導体 ■ エンベデッドシステム ■ 電源機器 ■ 画像機器機器・部品 ■ 情報システム ■ 電子機器・部品のその他

商品別四半期受注高・受注残高推移 製造装置 **Daitron**

受注高



受注残高



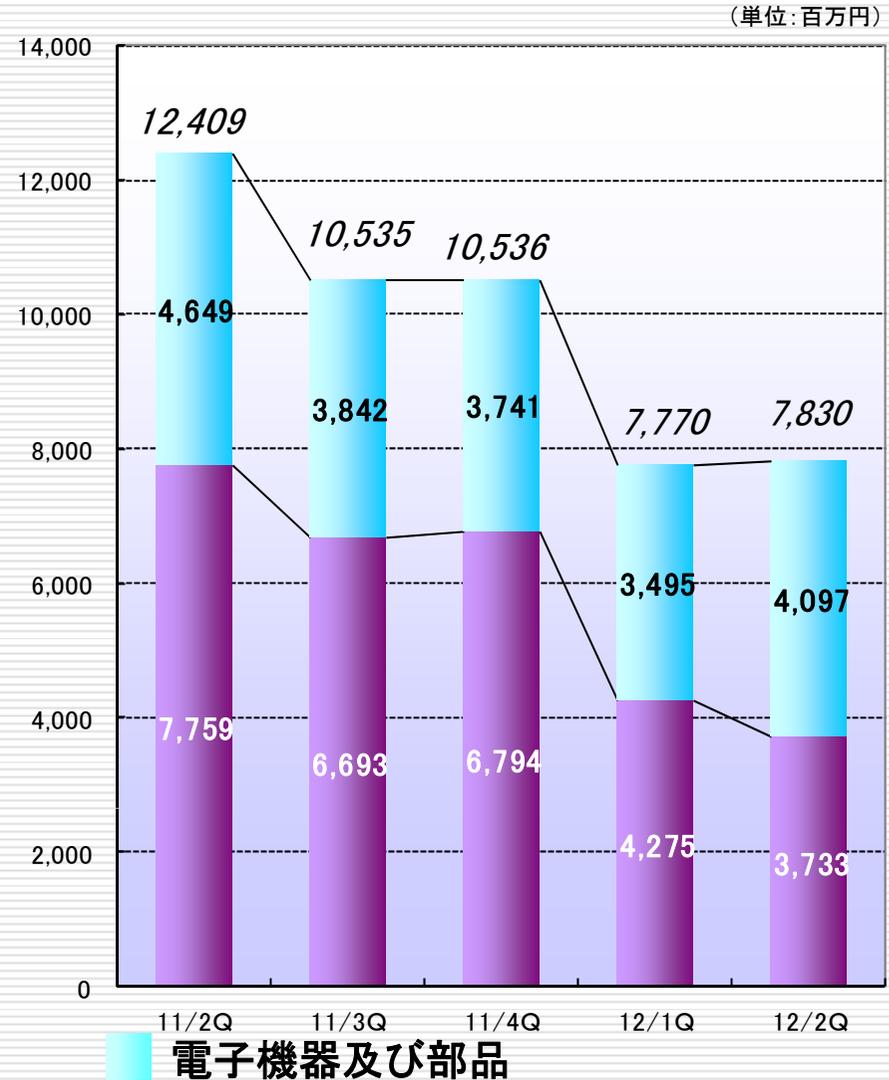
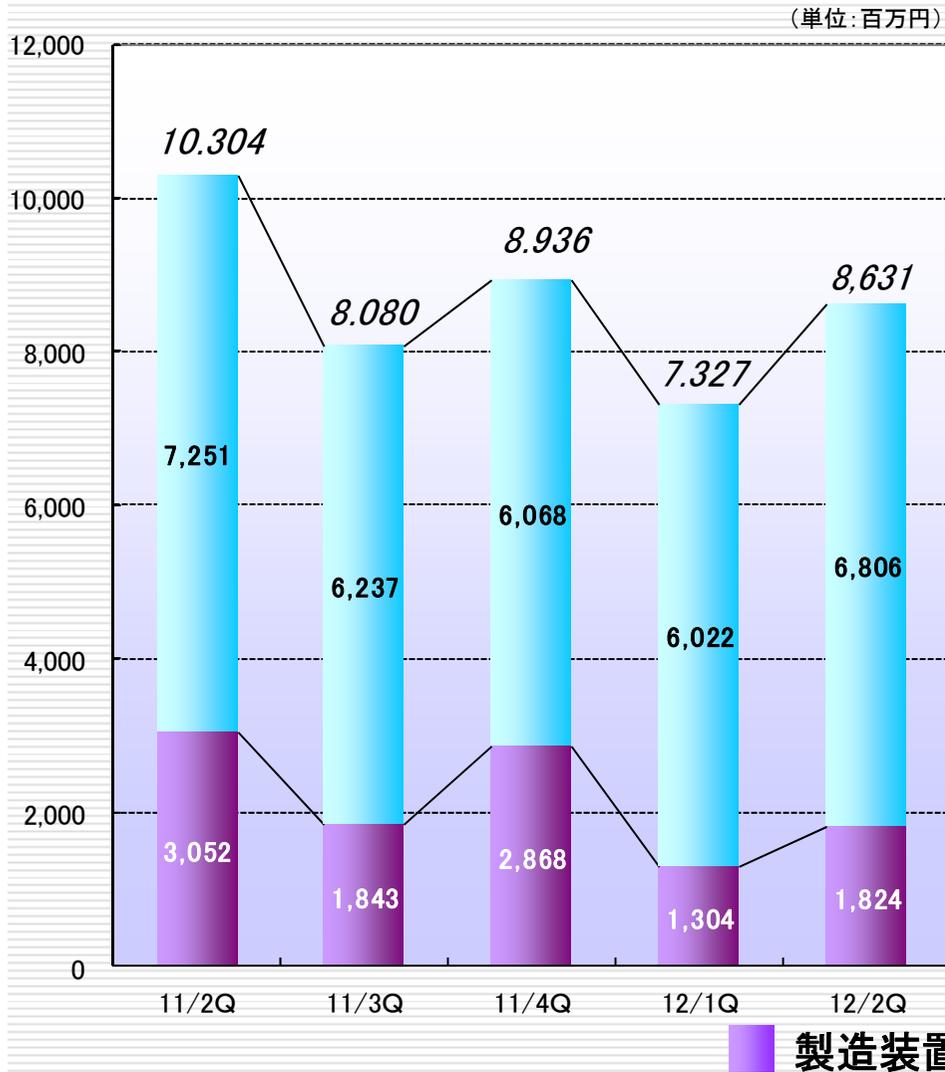
■ 光デバイス製造装置 ■ LSI製造装置 ■ 電子材料製造装置 ■ FPD製造装置 ■ エネルギーデバイス製造装置

商品セグメント別四半期受注高・受注残高推移(全体)



受注高

受注残高



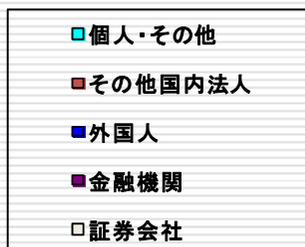
株価情報

株式の概要

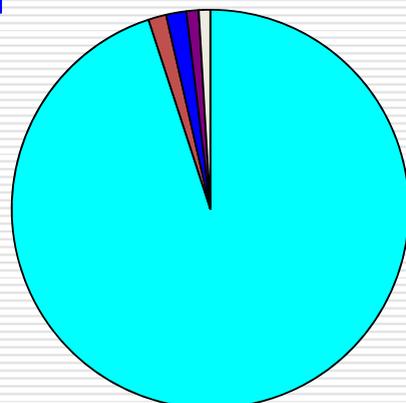
(2012年6月30日現在)



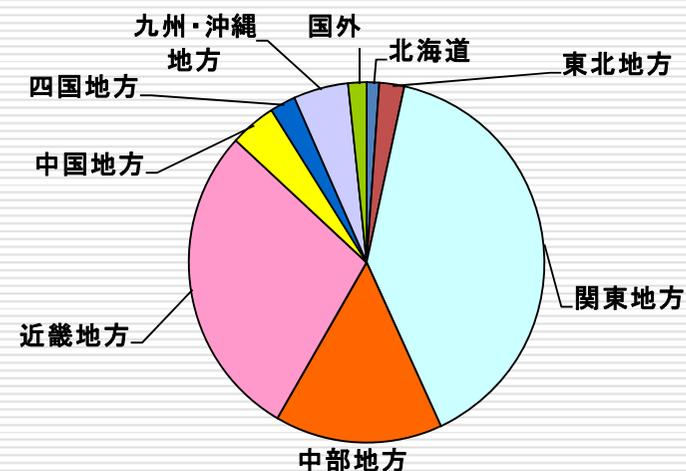
上 場 市 場	東京証券取引所、大阪証券取引所 1部
証 券 コ ー ド	7609
単 元 株 数	100株
発 行 済 株 式 総 数	11,155,979株
株 主 数	3,197名
株 主 構 成	



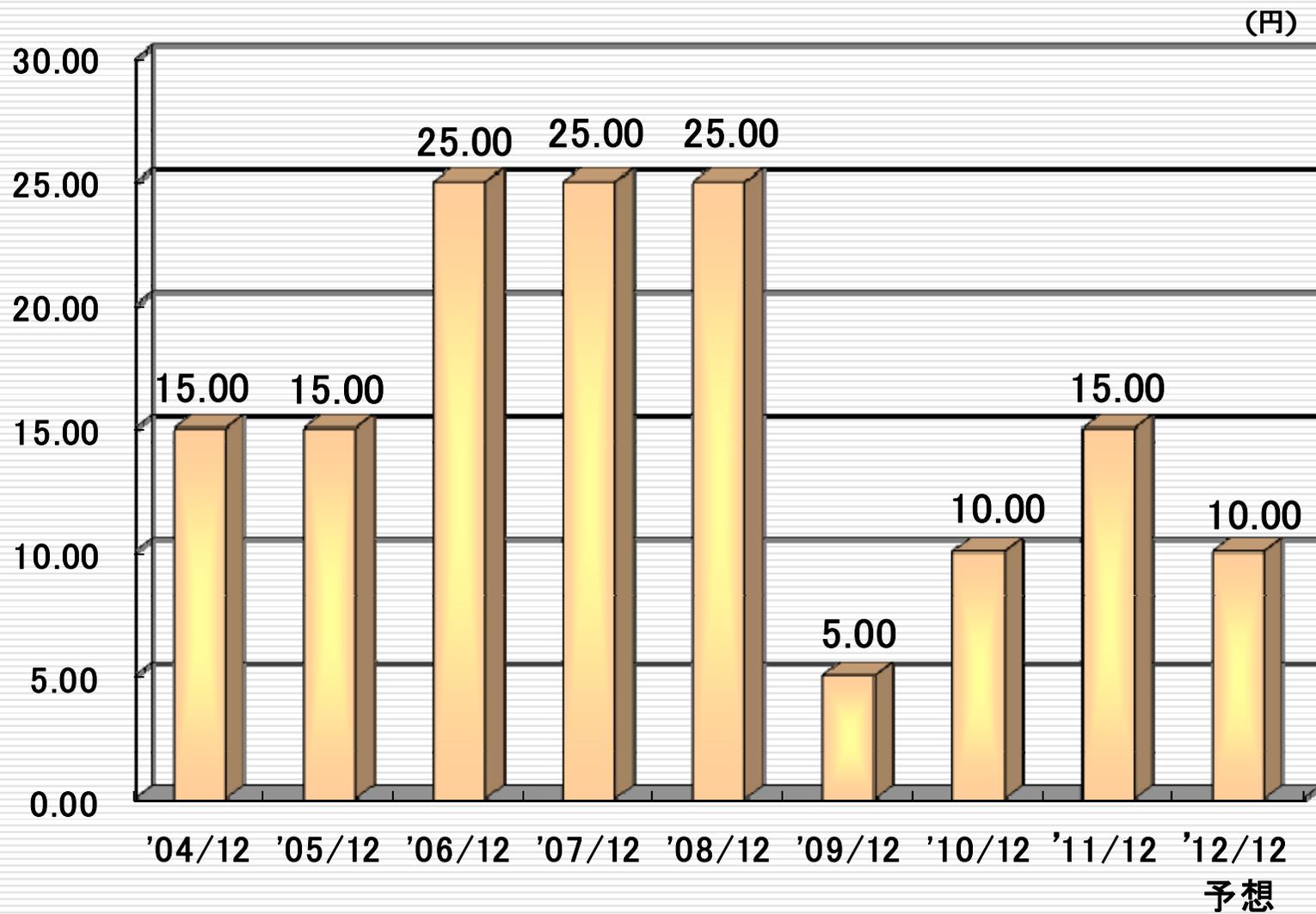
所有者別株主分布状況

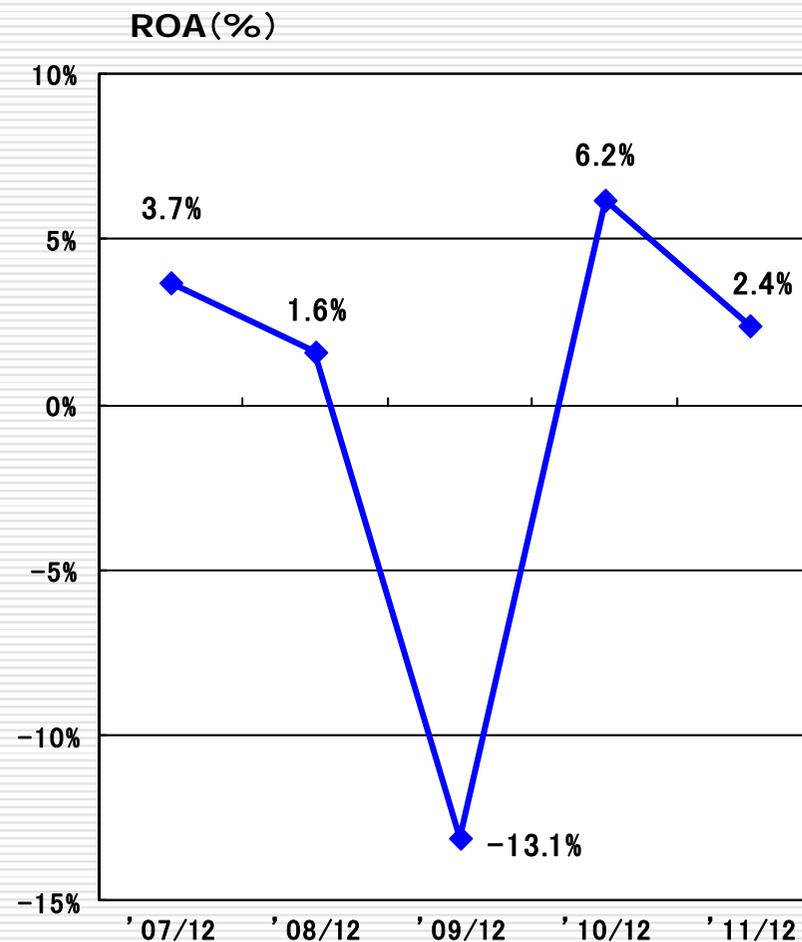
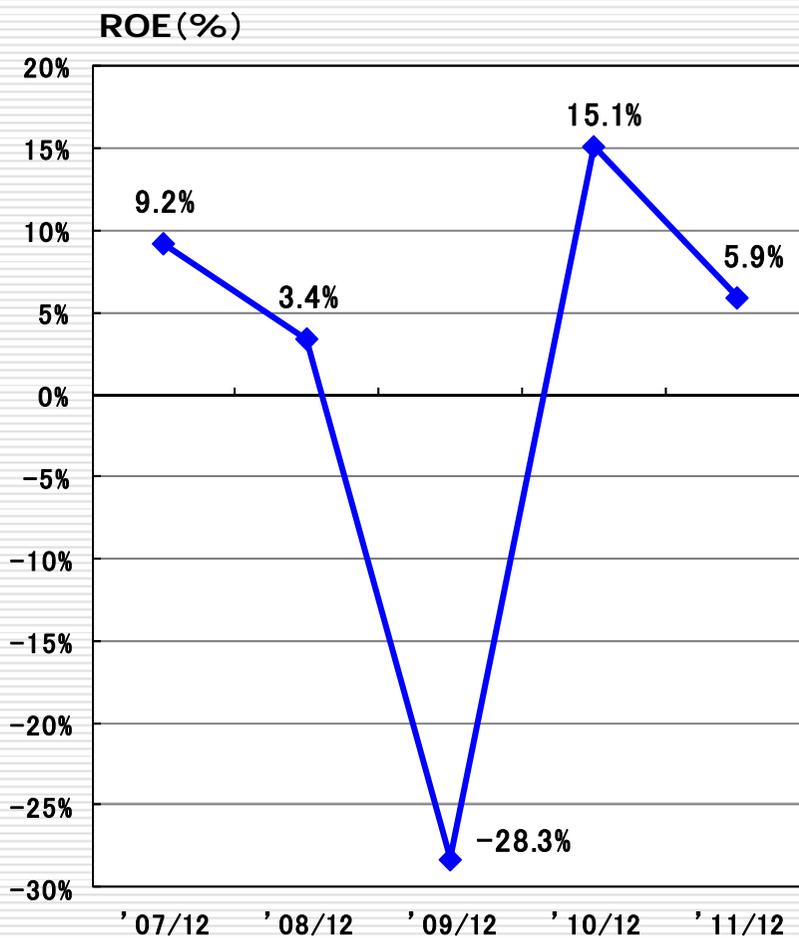


地域別株主分布状況



配当金の推移





この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをご含みおき下さい。

《本資料並びにIRに関するお問い合わせ先》

経営管理部 広報・IR担当

TEL:06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp

本日のご出席 有難うございました。